



ひよこっこ人形劇団



手作りの人形劇を通じて、子どもたちが本や昔ばなしに親しむ機会をつくり続けてきたことが評価され、令和5年度山口県子ども読書活動団体として表彰。30周年を迎えた今、メンバーは何を想うのでしょうか。

子どもたちに伝えたい
本や昔ばなしの面白さ

つくり続けて30年

明るい笑い声が響く、豊浦小学校4階の集童場。そこは、ひよこっこ人形劇団のメンバーが集まる活動の場です。始まりは30年前。豊浦小学校育友会会員とOG有志によって発足しました。現在は、長府中学校区地域学校協働本部「ほっちゃや」の学校支援ボランティア団体として、子どもたちが本や昔ばなしに親しむ機会をつくり続けています。

現在のメンバーは9人。小学校はもちろん、長府地区の幼稚園や土曜夜市でも公演を行っています。



▲地域の保育園・幼稚園での公演

365日、ひよこっこ

豊浦小学校の学年活動での公演を翌週に控えた練習の日。この日も、メンバーからは笑顔があふれています。

「かなえちゃん、もうちょっと右よ」「かよこさん、ごめん間違えた」と、名前で呼び合うメンバーたち。和気あいあいとした雰囲気の中、配役や人形の動きなどを確認していきます。

この雰囲気はいつだってどこから生まれるのでしょうか。「よいこさん」こと代表の篠川良子さんは、こう話します。

「部活みたいな感じですね。とにかくみんな子どもが好きなんです。子どもたちの笑顔を見られるのが一番うれしい。毎日ひよこっこのことを考えているくらい楽しくて、家族からも、お母さん楽しそうって言われます」

活動以外にも、子育ての悩みや子どもの勉強のことなどを相談し合えることも、ひよこっこの魅力なのだそうです。



Linked Instagram インスタグラム

市報×インスタグラム連動企画
フォロワーの皆さんが投稿した下関
の魅力が伝わる写真をご紹介します



♡ Q ▼ @shirahata.photoさん



♡ Q ▼ @saru0112さん



♡ Q ▼ @amila_weerasekaraさん

MEMORIES THAT STAY WITH YOU FOREVER



▶準備の様子
公演当日に参加できるメンバーで、無理なく配役を割り振る。



◀公演の様子
手作りの人形に、動きが加わると、まるで生きているかのよう。



▶お見送りの様子
人形とハイタッチでお別れ。喜ぶ子どもいれば、怖がる子どもの表情が何よりの活力。

すべてが手作り

集童場には、50体を超えるさまざまな人形があります。しかし、手作りなのは、人形だけではありません。背景や小道具、脚本から演出まで、そのすべてがメンバーによる手作りなのです。

さらには、コロナ禍で公演が開催できない時にも、少しでも手作りの人形劇に触れてもらおうと、YouTube「ひよこっこチャンネル」を開設。メンバー一人一人が、得意なことを生かしてひよこっこをつくっています。

ひよこっこの今後の目標をよいこさんに尋ねました。

「一回一回の公演が目標です。子どもたちの笑顔が見たい、だから続けていきたい。ただそれだけです」
ひよこっこ人形劇団がいる限り、昔ばなしが失われることはありません。

▼せきまるがひよこっこ人形劇にコラボ出演？
広報戦略課YouTubeへ





ひよこっこプレゼンツ
怪談 night
耳なし芳一ほか
8月5日(土)19時30分開演
法福寺本堂(幸町)



無料

Editor's note 編集後記

◆熱い想いで創業することを決意した方たち。話を聞いていると、自分の人生を歩んでいるんだなと、少しうらやましくなりました。宮村◆内日中学校の授業研究に参加。先生方の生徒への想いや志が飛び交う中「西村さんも何か話します?」「ん!!?」最大級の窮地でした。西村◆シモラ部の皆さんが、角島に行った時の感動を目をキラキラさせながら語ってくれました! 下関愛がふくらんでいる気がします。廣野